

陸上自衛隊矢白別演習場に
陸送された米海兵隊車両



防衛

Bouei Hokkaido
December 2015
Hokkaido
Defense Bureau
Ministry of Defense

Vol.43

北

海

道



米海兵隊155ミリリゅう弾砲の射撃



訓練見学会時 米海兵隊大隊長からの説明

編集・発行 防衛省北海道防衛局 広報誌等編集委員会
札幌市中央区大通西12丁目 札幌第3合同庁舎
Tel.011-272-7579
<http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



米海兵隊による

沖縄県道104号線越え実弾射撃訓練

陸上自衛隊矢臼別演習場で、沖縄県に駐留する米海兵隊による実弾射撃訓練が、11月25日（水）から12月3日（木）までの9日間実施されました。

この訓練は、沖縄県の負担軽減のために本土の5演習場において、分散・実施しているものであり、陸上自衛隊矢臼別演習場での訓練は、昨年引き続き、15回目となります。

今回の訓練部隊の規模は、人員約370名、車両約100両、155ミリりゅう弾砲12門です。

当局としては、訓練の円滑な実施及び事故防止に万全を期すとともに、地元の皆様に安心してもらえるよう現地対策本部を設置して各種対応に当たり、昨年度と同様、自治体への迅速かつ正確な情報提供を行うために、自治体との連絡調整のための「専従職員」を配置するなど、引き続き体制を維持しました。

平成27年11月17日（火）～19日（木） 米海兵隊本隊及び物資車両輸送



平成27年11月19日（木）～21日（土） 陸上自衛隊支援による消火訓練・緊急患者輸送訓練を実施



平成27年11月23日（月） 訓練説明会を実施



本訓練について地元の方々に御理解をいただくため、地元住民、町議会議員、地元自治体職員及び報道機関を対象とした訓練説明会を開催しました。この説明会には約50名が出席し、早坂茂紀現地対策本部長から訓練の概要説明、米海兵隊第12海兵連隊第3大隊長のニール・オーエンズ中佐からのメッセージ紹介の後、参加者との質疑応答が行われました。なお、この説明会は本土の5演習場の中では、現在、当局のみが行っているものであります。

平成27年11月24日（火） 米海兵隊大隊長が別海町、厚岸町、浜中町及び標茶町を表敬



別海町表敬
(右側が別海町長水沼猛氏、
左側がニール・オーエンズ中佐)



別海町役場で報道機関の取材に
応じるニール・オーエンズ中佐
(左から2人目)

ニール・オーエンズ中佐は、別海町長等に対して、「訓練の実施にあたっては、安全が最大の優先事項である」と述べました。

平成27年11月27日（金） 訓練見学会を実施

訓練見学会は、悪天候で風雨が激しく足元が悪い中、地元住民、町議会議員、地元自治体職員及び報道機関（代表2社）



155ミリりゅう弾砲の前で説明を受ける訓練見学会参加者



通訳を行う防衛局職員(右側)

約30人が参加し、米海兵隊から射撃指揮所、りゅう弾砲の操作手順及び小火器についての説明が3グループに分け実施され、最後に大隊長と参加者との質疑応答が行われました。

平成27年12月7日（月） 米海兵隊によるボランティア活動を実施

陸上自衛隊矢臼別演習場で実弾射撃訓練を終えた米海兵隊は、広く地元住民との交流を持つという観点から、演習場所在地である別海町の「デイサービスセンターひだまり」にて、大隊長以下約30名の米海兵隊員が地元の方々とゲーム等を行いながら楽しいひとときを過ごし、交流を深めました。



平成27年12月
11日（金）～13日（日）
米海兵隊本隊及び
物資車両が
矢臼別演習場を出発



米海兵隊実弾射撃移転訓練の支援業務に参加して(防衛局職員)



陸上自衛隊矢臼別演習場内での
支援業務

私は今年の4月に北海道防衛局へ異動となり、今回、初めて、矢臼別演習場の現地対策本部に勤務をしました。演習場周辺の巡回を行うことで確かな安全対策に努めるなど、朝夕には氷点下の中、初めてづくしの支援業務で不安もありましたが、米海兵隊の方々や普段接点が少ない局内の他部署の先輩方及び自衛官の方々に多くのことを教えていただき、そして交流を深めることができたことは、自分にとって大変有意義な時間を過ごすことができました。

防衛問題セミナーを開催

第31回テーマ

我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて／札幌市

講師



地方協力局
山本 次長(当時)



防衛省日米協力課
飯島 企画官(当時)

セミナー風景



北海道防衛局は、平成27年9月30日（水）に札幌市において「我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて」をテーマに、防衛問題セミナーを開催しました。

講演は、防衛省地方協力局の山本次長（当時）から「我が国の安全保障環境への対応と沖縄基地負担の軽減に向けて」、防衛省日米防衛協力課の飯島企画官（当時）から「新「日米防衛協力のための指針（ガイドライン）」について」と題し、それぞれ説明を行いました。

来場者からは、「安全保障や防衛政策に対する理解が深まった。」、「内容が充実していて興味深かった。」などの声が寄せられました。

第32回テーマ

最北の守りと自衛隊／稚内市

講師



防衛研究所
兵頭 部長



稚内分屯基地
藤原 司令(当時)

セミナー風景



北海道防衛局は、平成27年10月24日（土）に稚内市において「最北の守りと自衛隊」をテーマに、稚内市の後援を頂き防衛問題セミナーを開催しました。

冒頭、石尾北海道防衛局次長から開催挨拶を行い、続いて稚内市の工藤市長から御挨拶を頂きました。

講演は、防衛研究所地域研究部の兵頭部長から「安全保障から見た隣国ロシア」、航空自衛隊第18警戒隊長兼稚内分屯基地司令の藤原一等空佐から「稚内分屯基地の役割と災害対処」と題し、それぞれ説明を行いました。

来場者からは、「ロシアとの関係がよく理解できた。」、「自衛隊を身近に感じることができた。」などの声が寄せられました。

主催者及び後援者挨拶



北海道防衛局 石尾 次長



稚内市 工藤 市長

当局では、防衛省の諸施策や自衛隊の活動等について、多くの皆様に御理解を深めていただけるよう、今後も各地で防衛問題セミナーを開催していく予定です。

中谷防衛大臣が富良野市長に感謝状を贈呈

平成27年10月17日（土）自衛隊記念日行事として、平成27年度防衛大臣感謝状贈呈式が東京・ホテルグランドヒル市ヶ谷で行われました。

防衛施設の安定使用で功績のあった能登富良野市長に中谷防衛大臣から感謝状が贈呈されました。



の と よしあき
北海道富良野市長 能登 芳昭氏
平成18年5月市長就任（現在3期目）

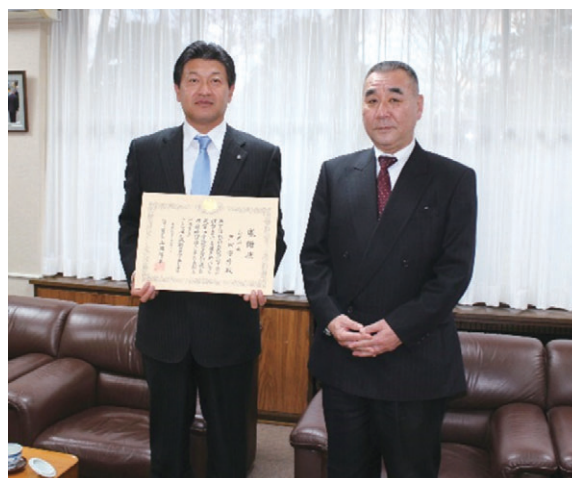


北海道防衛局長感謝状贈呈

11月1日の自衛隊記念日行事として、平成27年11月4日（水）根室市長長谷川俊輔氏及び平成27年11月13日（金）に白老町長戸田安彦氏の両氏に、山岡局長から感謝状が贈呈されました。



はせがわ しゅんすけ
根室市長 長谷川 俊輔氏
平成18年9月市長就任（現在3期目）



とだ やすひこ
白老町長 戸田 安彦氏
平成23年11月町長就任（現在2期目）

防衛施設と周辺地域との調和を図るために

～民生安定施設整備事業（漁業用施設）の紹介～

本稿では、新ひだか町で整備した製氷貯氷施設を紹介します。

新ひだか町には静内対空射撃場があり、隣接して「静内対空射撃場水域」を年度ごとに設定しています。この水域では漁船の操業制限等が行われており、漁場の変更や漁船の迂回航行を余儀なくされ、操業時間の短縮等により漁獲が減少するなど漁業経営が著しく阻害されている状況にあることから、漁業経営の安定に寄与する施設として製氷貯氷施設の整備が行われ、当局では、防衛施設周辺の生活環境等に関する整備等に関する法律第8条に基づき、その一部を助成してきました。

本施設は本年8月に完成、稼働を開始し、防衛施設の運用により航行距離が長くなった場合などの漁獲物の鮮度保持に効果を発揮しています。

今後も当局では、防衛施設の設置又は運用による障害を緩和するため、防衛施設周辺における生活環境施設や事業経営の安定に寄与する施設に対して助成していきます。

民生安定事業の概要については、特別編集号「防衛北海道（平成26年3月発行）」に掲載しています。ホームページより是非ご覧ください。※北海道防衛局ホームページ <http://www.mod.go.jp/rdb/hokkaido/>



施設の外觀



◆ 施設の概要

事業実施年度：平成25年度～平成27年度
 構造：鉄骨造一部3階建
 建築面積：約844㎡
 延床面積：約915㎡
 総事業費：約4億3,600万円
 補助額：約2億4,600万円

町の担当者の声：

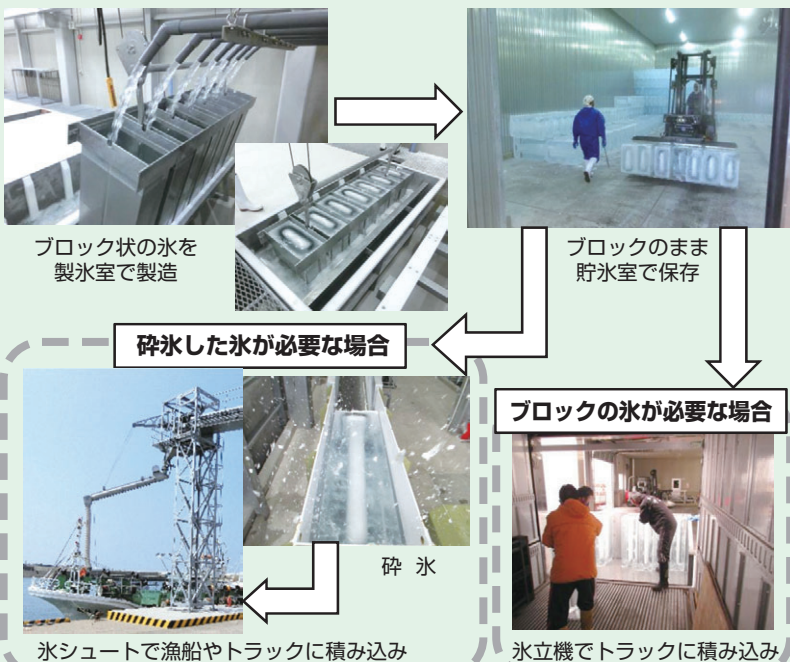
漁獲物の衛生管理に必要な氷が安定供給されることで、消費者が求める安全・安心な水産物の管理体制が強化され、静内対空射撃場での水域設定により航行距離が長くなった場合などでも鮮度が保持でき、漁業経営の安定に寄与するものと考えています。

漁業者の声：

十分な量の氷が供給されることで、鮮度保持に役立っており、安心しています。また、氷の供給作業も効率的で便利になりました。

※ 静内対空射撃場では、隣接して静内対空射撃場水域を年度ごとに設定しており、この水域は、国内で唯一「短距離地对空誘導弾（短SAM）」を実射でき、この短SAMをはじめとする各種誘導弾及び87式自走高射機関砲等による対空射撃訓練並びに無人偵察機による飛行訓練が行われています。

◆ 製氷から漁船やトラックへの積み込みまでの流れ



政府専用機 任務運航通算300回達成



特別航空輸送隊は、政府専用機を運航する唯一の航空輸送部隊として、平成27年9月25日から10月2日までの間、内閣総理大臣の第70回国連総会出席及びジャマイカ訪問に伴う航空輸送を実施し、本運航において任務運航通算300回を達成しました。

任務運航通算300回を達成した特別航空輸送隊
(新千歳空港の政府専用機格納庫前で撮影)

航空自衛隊食育の日



9.17

@千歳基地



この「航空自衛隊食育の日」とは隊員の食への関心や理解の不足、肥満や生活習慣病等、コンビニ等で喫食し部隊給食を食べに来ないといった状況が見られることから、これらを減少させ自衛隊の任務遂行に必要な健全な身体と精神を養うことを目的に設定されました。航空自衛隊食育の日は、四半期に一度「食・イク(19)」の語呂に合わせ19日に実施されます。(9月は19日が土曜日なので、17日に実施)

写真の献立は、9月17日(木)のエゾシカカレーは、方面隊演習等応援献立スタミナ(肉)料理ということで千歳基地は道産にこだわりました。エゾシカ肉はもちろん、ウインナーとサラダに使用した野菜は千歳産、牛乳とゼリーは道内産です。カロリーは写真に表示しています。

FMいるか「海ラジ函館基地隊特ダネ情報局」



地元ラジオ放送番組 FMいるか「海ラジ函館基地隊特ダネ情報局」は、海上自衛隊の情報を伝えて、平成24年3月から放送が始まり、平成27年10月で放送回数が80回となりました。インターネットでも視聴可能です。

- 番組名：海ラジ～海上自衛隊特ダネ情報局
- 放送日時：毎月第1木曜日 午後2時10分～2時25分(15分)
- 放送局：FMいるか 80.7MHz

北海道
初開催

～海上自衛隊大湊音楽隊 第38回定期演奏会のお知らせ～

開催日：平成28年2月13日(土)
開催場所：ニトリ文化ホール(札幌市中央区北1条西12丁目)
お問合せ：海上自衛隊大湊地方総監部総務課広報係 TEL 0175-24-1111

ホームページアドレス
<http://www.mod.go.jp/msdf/ooinato/>

防衛施設歴史散歩

陸上自衛隊美幌駐屯地史料館の紹介

写真提供:美幌駐屯地
渉外広報班

美幌駐屯地は、北海道の東部オホーツク海沿岸から30km余りの内陸部に位置し、昭和15年10月、美幌町内の田中地区に美幌海軍航空隊として開隊されました。

駐屯地は、今年で創立64周年を迎え、オホーツク沿岸の2市8町を担当隊区として、地域の人たちとの繋がりが深い駐屯地です。

特に部外協力としてオホーツクの2大イベントであるサロマ湖100キロマラソン、オホーツクサイクリング他、近傍で行われているピホロ100キロデュアスロン大会等各種行事等で運営支援を行っており、地元地域と一体となった活動を行っています。

現在、駐屯地には第6普通科連隊、第101特科大隊の他、7個部隊が駐屯しており、川村1佐駐屯地司令の統率方針「即応態勢の堅持」のもと、国民及び地域住民への信頼を醸成するとともに、道東防衛の任務遂行に邁進しております。

美幌駐屯地史料館の見所は、「海軍の至宝」「※中攻の神様」と称され飛行長を務めた檜貝襄治少佐の生涯やエピソード、多くの遺品等です。その他、陸軍コーナー、旧日本軍機のタイヤ、戦時債券・衣料切符なども展示されています。

※中攻：中型攻撃機の略。九六式陸上攻撃機は、後継機の一式陸上攻撃機とともに通称「中攻」と呼ばれた。



海軍コーナー



陸軍コーナー



戦時債券、衣料切符



旧日本軍機のタイヤ

開館時間：平日08：15～17：00（土日祝は休館） 調整により対応可能です
史料館見学申込み：陸上自衛隊美幌駐屯地渉外広報班 0152-73-2114（内線280）

陸上自衛隊 音楽まつり



フィナーレ 出演/全出演者

平成27年10月24日（土）、札幌市内にあるニトリ文化ホールにおいて、北部方面音楽隊、第2音楽隊、第5音楽隊、第7音楽隊、第11音楽隊、北海自衛太鼓（第13施設隊）、遠軽がんばろう太鼓（第25普通科連隊）が参加し、北部方面隊音楽まつりが行われました。



多くの観客を魅了した信号ラッパの音色

～防衛施設が所在する自治体の紹介～



北海道 美幌町

「ひとつつながる、みらいへつなげる
ここにしかないまち びほろ」

〒092-8650

北海道網走郡美幌町東2条北2丁目25番地

ホームページアドレス：<http://www.town.bihoro.hokkaido.jp/>



美幌町長 つちや こうじ 土谷 耕治

町長あいさつ

北海道の東部、オホーツク圏のほぼ中央に位置する農業を基幹産業とする人口約21,000人の町です。

オホーツクの空の玄関口である「女満別空港」に隣接し、国道4路線、道道6路線、JR石北線美幌駅を有し、知床や網走、阿寒・摩周といった道東観光の拠点として、また、道内主要都市を結ぶ交通の要衝として発展を遂げて参りました。

観光では、「清流日本一」に輝いた美幌川をはじめ、天下の絶景と称される360度の大自然「美幌峠」を有し、美幌峠から眺める世界第2位のカルデラ湖屈斜路湖は、雲海、満天の星空、日の出と様々な表情で人々を魅了し、年間約80万人もの観光客が訪れております。

道の駅「ぐるっとパノラマ美幌峠」は、2014年景色がきれいだと感じた道の駅ランキングで、堂々の1位に輝いております。道東観光の拠点であり、清らかな川と緑豊かな自然あふれる「美幌」へのご来町を町民一同お待ちしております。



美幌峠からの雲海(中央は中島の頂上部)



自衛隊との協定

■ 太い絆で結ばれた美幌駐屯地と隊区内2市8町

陸上自衛隊美幌駐屯地と隊区内2市8町（北見市、網走市、置戸町、訓子府町、斜里町、清里町、小清水町、津別町、大空町、美幌町）の関係は、旧海軍航空時代に遡れば、実に70年以上にもわたり良好な関係を築き地域の誇りとしているところであります。

わが国の平和と安全を守る自衛隊や駐屯地部隊を地域住民及び関係団体が、結束してしっかりと支えることが、地域の平和に繋が

ることを念頭に、平成25年7月に美幌駐屯地と隊区内2市8町による「大規模災害時等における留守家族支援の協定」を全国に先駆けて締結させていただきました。

締結後、昨年の5月から半年間、野村前駐屯地司令以下119名の隊員が、南スーダン第6次派遣要員として赴きましたが、協定に基づき隊区内をあげて派遣隊員及び留守家族をしっかりと支援して参りました。

今後とも、地域と太い絆で結ばれた美幌駐屯地の充実発展を念願して止まないものであります。



美幌GirlのGMT自慢! 防衛局職員

私は美幌町で生まれ育ちました。

美幌町には、屈斜路湖を含む広大な自然を一望できる美幌峠があり、四季折々で楽しめる風景は格別で、心が癒やされます。

また、美幌町はお水が綺麗で、美味しい食べ物屋さんがたくさんあります。

特に、美幌観光和牛祭りイベントになっているほど美味しいお肉を提供している焼肉屋さん、売り切れでお昼には店終ってしまうパン屋さん、古い歴史をもつ巨大なパフェが食べれる喫茶店や、オシャレな

雰囲気をかもしだしてデートにぴったりな喫茶店、肉汁たっぷりシューシーな肉まん屋さん、更科で美味しいお蕎麦さん等、お店が充実しています。

最近では、美幌高校と商工会議所が協力して開発した『まるまんま豚醤油』が発売されました。調味料として使用しますが濃厚で料理を一層美味しく仕上げられます。

美幌町は味の宝庫です。

さらに、疲労回復やリフレッシュができる温泉もあります。

また、隣町にある女満別空港まで車で15分前後でいくことができ、交通アクセスも良いです。ぜひ美幌の町を堪能しに足を運んでみてはいかがでしょうか。

山岡博幸新局長 着任挨拶

この度、北海道防衛局長を拝命いたしました山岡です。
九州防衛局の勤務を経て、本年10月1日付で北海道に着任しました。この北海道の地において仕事が出来ますことを大変うれしく思っております。

北海道には、わが国最大の演習場である矢臼別演習場を始めとした、わが国の防衛力と日米安全保障体制を支えるための重要な防衛施設が数多く所在しております。

北海道防衛局は、これらの防衛施設の安定的使用を確保するために、その周辺地域と調和を図り、周辺住民の方々の御理解と御協力を得ることは無論のこと、地方における防衛行政の拠点として、近年の防衛行政を取りまく社会情勢や環境の変化を踏まえながら重要な責務に積極的に取り組んでおります。

また、常日頃から自衛隊の活動を側面から支援すると共に、その活動状況を広く北海道民の皆様に理解して頂くことも使命の一つであると考えております。

国の防衛は、国民一人ひとりによって支えられているものであり、自衛隊の活動も国民の支援なくして成り立ちません。国民の期待と信頼に応え得るよう、職員と共にチーム北海道bdbとして、力を尽くしてまいり所存ですので、引き続き皆様方の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。



プロフィール:東京都出身
野球は、福岡ソフトバンクホークスのファン



平和を、仕事にする。

平成27年度 自衛官等募集



募集種目	自衛官候補生 (男子)	高等工科学校生徒		防衛大学校
		推 薦	一 般	一般 (後期)
募集種目	陸上・海上・航空自衛官としての基礎的教育訓練を受けた後、「任期制自衛官」に任用され、職務を通じ技術や資格を取得します。希望により選抜試験を経て、曹や幹部へ昇進します。	高度な専門知識の取得と国際社会において自信を持って対応できる陸上自衛官を養成し、3学年卒業時には高等学校 (通信制) の卒業資格を取得します。		将来の陸上・海上・航空自衛隊の幹部自衛官となる人材を育成する大学校です。 広い視野を開き、科学的な思考力を養い、豊かな人間性を養うとともに、幹部自衛官にふさわしい精神、体力基盤及び生活習慣を育成します。
応募資格	18歳以上27歳未満の男子	中学校等卒業 (見込含む。) 17歳未満、成績優秀で学校長が推薦できる男子	中学校等卒業 (見込含む。) 17歳未満の男子	高卒 (見込含む。) 21歳未満の者 (自衛官は23歳未満)
受付期間	お近くの自衛隊地方協力本部へお問い合わせ下さい。	11月1日 (日) ~ 12月4日 (金)	11月1日 (日) ~ 28年1月8日 (金)	28年1月20日 (水) ~ 1月29日 (金)
試験期日	札幌: 12月19日 (土)、20日 (日) 1月30日 (土)、31日 (日) 旭川: 12月13日 (日)、14日 (月) 1月24日 (日)、25日 (月) 函館: 12月12日 (土)、13日 (日) 1月24日 (日)、25日 (月) 帯広: 12月12日 (土)、13日 (日) ※採用予定数を採用した場合は、実施しない場合があります。	28年1月9日 (土) ~ 1月11日 (月) ※いずれか1日が指定されます。	1次: 28年1月23日 (土) 2次: 28年2月 4日 (木) ~ 2月 7日 (日) ※2次試験は、1次試験合格者のみいずれか1日が指定されます。	1次: 28年2月20日 (土) 2次: 28年3月11日 (金)
合格発表	試験終了後に通知されます。	28年1月20日 (水)	1次: 28年1月29日 (金) 最終: 28年2月19日 (金)	1次: 28年3月4日 (金) 最終: 28年3月18日 (金)



札幌地方協力本部
011(631)5472



旭川地方協力本部
0166(51)6060



函館地方協力本部
0138(53)6241



帯広地方協力本部
0155(23)2485

◆募集コールセンター



自衛官募集ホームページ
JAPAN SELF DEFENSE FORCES
http://www.mod.go.jp/gsd/f/jieikanbosyu/

自衛官募集 検索



自衛官募集携帯サイト

